

令和7年3月21日

陸前高田市議会議長 及川修一様

議会運営委員会委員長 藤倉泰治

令和6年度 管外行政視察報告

議会運営委員会の管外行政視察の概要は、下記のとおりでありますので報告します。

記

1 期 間 令和6年8月22日（木）

2 行政視察地及び研修項目

(1) 岩手県奥州市（人口108,400人 R6.7.31現在）

議員間討議について

3 出席委員等

| | | | |
|-----|------------|------|------------|
| 委員長 | 藤倉泰治 | 副委員長 | 木村 聡 |
| 委員 | 大坪涼子 | 委員 | 大和田 加代子 |
| 委員 | 菅野 秀一郎 | | |
| 議長 | 及川修一 | 副議長 | 鵜浦昌也 |
| 随 行 | 山田壮史(事務局長) | 随 行 | 山口 透(局長補佐) |

4 行政視察概要 別紙報告書のとおり

議会運営委員会行政視察報告

議会運営委員会は、議会における議員間討議の研修のため、岩手県奥州市において行政視察を行った。

議員間討議の議題、テーマ及びその決め方については、当局提案の議案に関わっての議員間討議ではなく、市民の関心事、市政の重要課題について、全員協議会や各常任委員会などで協議し、明らかになったことを踏まえて、議会内で共通テーマが「自然」に決まってきているようになっていた。また、現在は、病院問題、駅前利用問題が議論されているとのことであった。

議員間討議の進め方やサイクルについては、特に会期にこだわることなく、重要課題によっては年3～4回、また、通年で議論されるテーマもあった。また、一つのテーマだけではなく、並行して開催されることもあり、柔軟な開催となっていた。

奥州市議会「議員間討議のガイドライン」については、長文で詳しいものであり、奥州市議会として長年取り組んできたことをまとめ、成文化していた。奥州市議会としての議論の積み重ねの基に、実践的な内容が詳しくまとめられ意欲的な取組の姿勢が感じられた。

議員間討議の形式にこだわらず、「まずやってみる」ことが重要であること、テーマ設定は、当局提案の議案にこだわらず、市民にとって重要な関心事・市政課題という観点が重要であること、奥州市議会の「ガイドライン」のような詳しいものは別にしても陸前高田市議会に合ったようなアウトラインを示したものが必要であることを感じたところである。